

第 59 回原状回復対策協議会（11 月 16 日開催）について

平成 25 年 11 月 16 日に開催された第 59 回原状回復対策協議会で、次のことが話し合われました。

1 1,4-ジオキサン対策について

1,4-ジオキサンで汚染された区域について、地下水中の 1,4-ジオキサン濃度は、土壌の掘削や、キャッピングの除去による雨水の浸透等を要因として一時的に上昇しましたが、その後は減少傾向にあります。

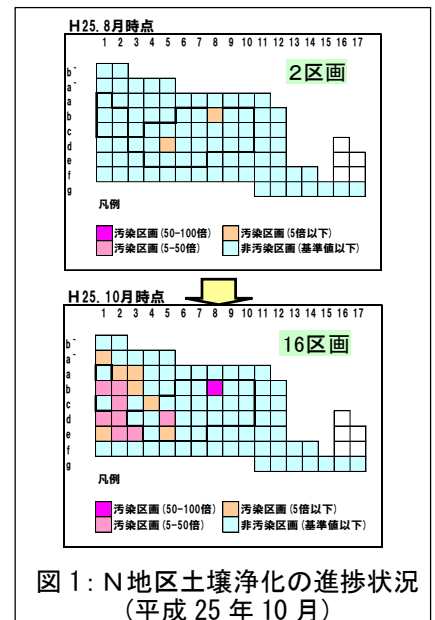
現在、1,4-ジオキサン等で汚染された区域の浄化対策として、同区域が環境基準に適合するまで、①同区域中の地下水を揚水して水処理施設に集め、②水処理施設で汚染物質の分解等により環境基準に適合させた水を同区域に再注入する、①・②の工程を繰り返すことにより地下水中の汚染物質の濃度を減少させる、「洗い出し」を実施しています。汚染が残る区域については、順次、揚水量を増やす等により洗い出しを促進していきます。

2 N地区汚染土壌の浄化対策について

揮発性有機化合物(VOC)による汚染が大きかったN地区について、8月時点で浄化が必要な区画は2区画まで減少しましたが、その後西側を中心にVOC汚染区画が増加に転じ、10月時点で浄化が必要な区画は、16区画まで増えました(図1)。

VOC汚染区画が増加した原因は、N地区一帯に敷設していた遮水シートを撤去したため、雨水が浸透し汚染土壌が洗い出されたことや、同区域内で積極的に揚水を実施していたことにより地下水の流れに変化を起し、滞留していたVOCが西側に移動したことが考えられます。

県では、VOC汚染区画周辺井戸のモニタリングを強化し、その動向に留意しながら、洗い出しを継続し、早期の浄化完了を目指します。



第 60 回原状回復対策協議会を次のとおり開催する予定です。

どなたでもご自由に傍聴できます。

日時 平成 26 年 3 月 15 日 (土) 午後 2 時 10 分から

場所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室 (二戸市石切所字荷渡 6-3)

廃棄物の撤去状況について (平成 25 年 11 月末現在)

表:平成 25 年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
25 年 5~9 月	8,644
10 月	315
11 月	1,078
計	10,035

平成 25 年度撤去目標 15,170 トン
 ※撤去量については、小数点以下の端数処理をしているため、割合の合計が 100% にならない場合があります。

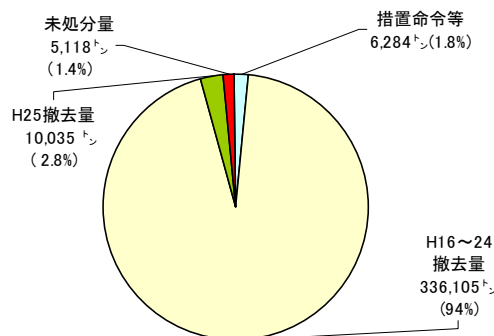


図 2: 岩手県側廃棄物の撤去状況

左図2に岩手県側廃棄物の撤去状況を示します。
 11 月末までに、岩手県側廃棄物推計量約 357,500 トンのうち、352,422 トン(約 98.6%)を撤去しました。